

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-03-0008_改0
提出年月日	2022年7月22日

工事計画に係る説明資料

核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備

(2.4.3 燃料プールのスプレイ系)

(本文)

2022年7月

東北電力株式会社

申請範囲目録

- 2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
 - 2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備
 - 2.4.3 燃料プールスプレイ系
 - (8) 主配管(スプレイヘッドを含む。)(可搬型)

2.4.3 燃料プールスプレイ系
 (8) 主配管(スプレイヘッドを含む。)(可搬型)

変更前								変更後							
名称	*1 最高使用 圧力 (MPa)	*1 最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所	名称	*1 最高使用 圧力 (MPa)	*1 最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付 箇所
燃料 プール スプレイ系	*2 取水用ホース (250A : 5m, 10m, 20m)	2. 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 2.4 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 2.4.2 燃料プール代替注水系 (8) 主配管(スプレイヘッドを含む。)(可搬型) に記載する。						燃料 プール スプレイ系							変更前に同じ
	*2 送水用ホース (300A : 2m, 5m, 10m, 20m, 50m)														
	*2 注水用ヘッド														
	*2 送水用ホース (150A : 1m, 2m, 5m, 10m, 20m)														
スプレイ用ホース (65A : 1m)	1.6	50	65A*3	—*4	ポリエス テル, ポ リウレタ ン	6(予備1)	保管場所 : ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 27.80 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 31.40 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 m 予備を含めた7本を原子炉建屋原子炉 棟 O.P. 27.80 mに1本, 原子炉建屋原 子炉棟 O.P. 31.40 mに3本及び原子炉 建屋原子炉棟 O.P. 33.20 mに3本を保 管する。 取付箇所 : { ・クロスバイザー管へスプレイ ノズル(3本*5) }	変更なし							
スプレイノズル	1.6	50	65A*3	—*4	AC4CH	12(予備1) *6	保管場所 : ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 27.80 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 31.40 m ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 m 予備を含めた13台を原子炉建屋原子 炉棟 O.P. 27.80 mに4台, 原子炉建屋 原子炉棟 O.P. 31.40 mに3台及び原子 炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 mに6台を 保管する。 取付箇所 : { ・原子炉建屋原子炉棟 O.P. 33.20 m (6台*5, *7) }	変更なし							

注記*1 : 重大事故等時における使用時の値。

- *2 : 本設備は、使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プール代替注水系)であり、使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールのスプレイ系)として本工事計画で兼用とする。
- *3 : メーカーにて規定する呼び径を示す。
- *4 : メーカー仕様によるものとし、完成品として一般産業品の規格及び基準に適合するものであって、使用材料の特性を踏まえた上で、重大事故等時における使用圧力及び使用温度が負荷された状態において強度が確保できるものを使用する。
- *5 : 使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備(燃料プールのスプレイ系)で使用する場合は示す。
- *6 : 燃料プールのスプレイ系(可搬型)として6台及び燃料プールのスプレイ系(常設配管)として6台に予備1台を合計した個数を示す。
- *7 : 使用済燃料プール周囲に6台設置する。